

三島市におけるスポーツ産業振興の取組

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第8回の今日は、「三島市におけるスポーツ産業振興の取組」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： スポーツ産業に関する取組ということですが、どういったものでしょうか。

市長： スポーツの取組といっても様々なものがありますが、本日はスポーツを切り口とした産業振興、地域活性についてのお話をさせていただこうと思います。皆さんご存知だと思いますが、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。

アナ： はい、もう今からワクワク、ドキドキしています。

市長： 私もとてもワクワクしています。スポーツに対して大きな注目が集まっているこのチャンスを三島市の産業振興、地域活性に活かしていこうという取組です。

アナ： なるほど、具体的にはどのような活動を展開していくのですか。

市長： まず三島市に限らない広域の取組として、今年度から「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」の事務局を三島市が担当しています。この協議会は、昨年、県が事務局となり立ち上げたもので、東部地域の20の市町に約50の企業・団体・個人会員が参加していますが、より地域に密着し機動的な活動を展開するために三島市が事務局を引き継ぎました。

アナ： 三島市が中心となって東部地域のスポーツ産業を盛り上げていくということですね。

市長： はい。スポーツによる誘客や地域で新たなスポーツ産業を立ち上げる場合など、それぞれの行政区域に縛られていると活動が制限されてしまいます。そこで、地理的にも富士・箱根・伊豆をつなぐ結節点となっている三島市が、スポーツに関してもつなぎ役となり東部地域全体の活性化を図ろうとしているのです。

アナ： 地域全体がひとつになって活性化していくなんて、とても素敵な取組ですね。

市長： そうですね。東部地域の魅力を全国のみならず全世界に発信できるように頑張っていきたいと思います。

アナ： 期待しています。

さて、東部地域の取組について伺いましたが、次に三島市としての取組はどのように考えていらっしゃるのですか。

市長： 三島市としては新たに「三島市スポーツ・文化コミッション」を立ち上げました。これは、先ほどの東部地域の協議会と違い、三島市単独で実施することのできるイベントや大会の誘致などを推進するものです。文化都市を目指す三島市では、スポーツだけに限らず文化的なイベントや大会についても積極的な誘致をし

ていきたいと考えております。

アナ： スポーツだけでなく、文化も取り入れた産業振興、地域活性ということですね。

市長： その通りです。スポーツによる身体健康、文化による心健康、双方が揃った“健幸”、この場合の”こう”は“しあわせ”の“こう”ですが、“健幸”に繋がるのではないかと思います。

アナ： なるほど、三島市の目指す姿ですね。先ほどの東部地域の取組と三島市としての取組はどのような関係になるのでしょうか。

市長： 広域の取組と三島市としての取組は、相反するものではなく、お互いを補うものと思ってください。それぞれが自分達でできることをしっかりと頑張りながら、その枠に収まらないもの、連携した方がより大きな成果が出せるものについては、協力して取り組むというのが理想だと思います。

アナ： なるほど、個々の能力も高めながらチームとしても強くなっていくイメージですね。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。